

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス咲花		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 8日 ～ 2025年 12月 13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 9月 16日 ～ 2025年 12月 13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	流動的なプログラム	同じような活動が続かないよう工夫している	より専門性の高いプログラムやライフステージに合わせた内容を拡充していく
2	広い活動スペースの確保	物件の広さを活かし、身体を動かせるスペース・座って過ごすスペースの両方を十分に設けている	家具の配置を工夫し、より使いやすく見通しやすい環境を整えていく
3	緊急時マニュアルのこまめな見直しと刷新	災害発生時の具体的な動きをマニュアル化し、訓練のたびにマニュアルをより効果的なものに刷新している	災害発生後、保護者さまが迎えに来られない場合の対応を大阪市と相談しているが、具体的な方法がまだ定まっていない

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流の機会の少なさ	家族単位で参加いただけるイベント（フルーツ狩りなど）を計画していたが、物価高騰により参加費が実現不可能な金額に達してしまった	現実的な金額で実施できる交流の機会を増やす
2	障害のない子供との交流の機会の少なさ	トラブル回避のため、事業所外の子どもとの交流に慎重になっている	子ども会など、事業所スタッフ以外にも職員がいる集まりを探して参加する
3	バリアフリー化	トイレが狭く、車いすで進入できない	現状ではトイレの狭さによる支障は生じていない／ トイレの拡張は難しいが、 段差の解消や握力の弱さをカバーする グッズなどを活用する